

 「ガス臭い」、「警報器が鳴った」などの
異常を感じたら、
すぐガス事業者へ連絡を！



- ⚠ 「ガス臭いときは、火気厳禁！換気扇や電灯のスイッチは着火源となるので絶対に手を触れないでください。
- ⚠ 窓や戸を大きく開けて、ガス栓・メーターガス栓を閉めてください。

お名前

ご住所

ご近所
の目標

その場
の状況

地震や火災の時も、あわてずに！
まず、ご自分の安全を確保したあとに行動してください。

ガスを快適・安全にお使いいただくため
皆様のご理解とご協力をお願いします。



ガスの安全見直し隊
<http://www.meti.go.jp/>

検索

 経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

お問い合わせは

日頃の
チェックで
快適＆安全！



ガスを快適＆安全に
お使いいただくための

6 日頃のチェック
のポイント

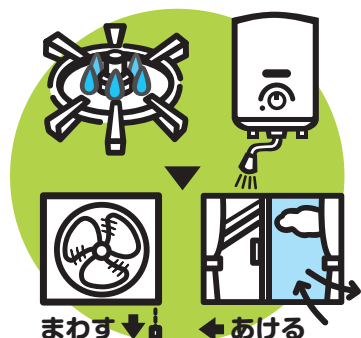


あなたの「日頃のチェック」で 快適 & 安全に ガスを使いましょう。

みなさま一人ひとりが日頃から注意してください。

✓チェック ポイント1

ガス機器を使うときは 必ず換気をしていますか？



ガスが燃えるには新鮮な空気が必要です。ガス機器を使うときは、換気扇を回す、窓を開けるなど必ず換気しましょう。燃焼のための空気(酸素)が不足するとガス機器が不完全燃焼を起こし、一酸化炭素(CO)中毒の原因になる恐れがあります。

✓チェック ポイント2

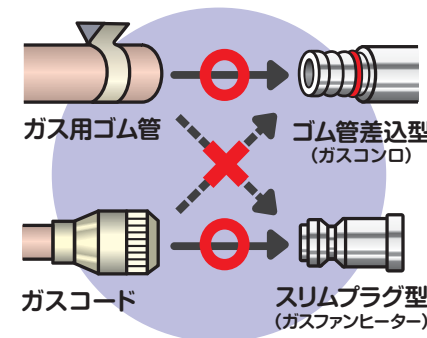
ガス警報器を 取り付けていますか？



万が一のガス漏れや、不完全燃焼による一酸化炭素(CO)が発生した場合に、ランプと音声でお知らせします。火災はもちろん、「3つのあんしん」を24時間守ります。

✓チェック ポイント3

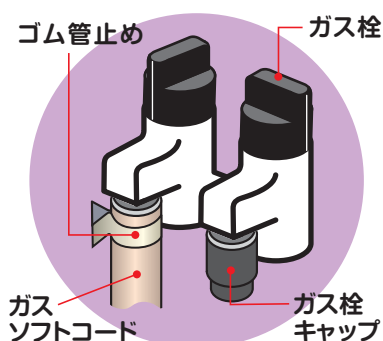
形状に合った 適切な接続具を使っていますか？



「ガス機器」、「ガス栓」は、種類によって接続する口の形状やサイズが異なります。正しく接続しないとガス漏れ、火災などの原因に！ガス機器および接続具の取扱い説明書をよく読んで、接続の形状やサイズに合ったもので接続しましょう。

✓チェック ポイント4

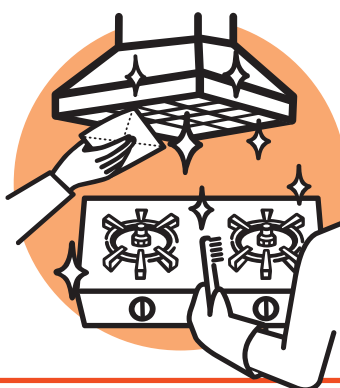
使用していないガス栓の 取扱いに注意していますか？



ガス機器が接続されていないガス栓を誤って開けると、ガスがもれて危険です。接続されていないガス栓は、ガス栓を開けてガス栓キャップをかぶせておいてください。また、古いガス栓をお使いの場合は、より安全型のヒューズガス栓への交換をお勧めします。

✓チェック ポイント5

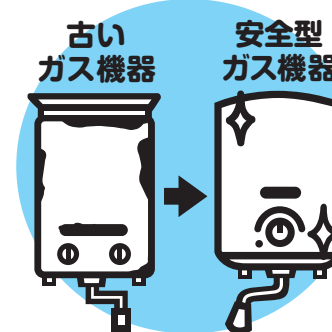
ガス機器のお掃除・ お手入れをしていますか？



コンロのバーナー部分や、ファンヒーターの空気を取り入れ口のフィルター等は定期的に掃除をしましょう。コンロのバーナー部分は煮こぼれしたものが詰まると正常な燃焼を妨げ、思わぬ事故を起こす原因になることがあります。詳しくは、ガス機器の取扱説明書をよく読んで行ってください。

✓チェック ポイント6

古いガス機器をより安全型の ガス機器へ交換されていますか？



ガス機器も古くなると部品が劣化し火災や事故のおそれがあります。古いガス機器は安全装置の付いた「安全型ガス機器」に早めに交換しましょう！

ご不明な点やお困りごとがありましたら、最寄りのガス事業者へご連絡ください。

 「ガス臭い」、「警報器が鳴った」などの
異常を感じたら、
すぐガス事業者へ連絡を！



- ⚠ 「ガス臭いときは、火気厳禁！換気扇や電灯のスイッチは着火源となるので絶対に手を触れないでください。
- ⚠ 窓や戸を大きく開けて、ガス栓・メーターガス栓を閉めてください。

お名前

ご住所

ご近所の
目標

その場
の状況

地震や火災の時も、あわてずに！
まず、ご自分の安全を確保したあとに行動してください。

ガスを快適・安全にお使いいただくため
皆様のご理解とご協力をお願いします。



ガスの安全見直し隊
<http://www.meti.go.jp/>

検索

 経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

お問い合わせは

ガスの安全
あなたと一緒に
見直したい！

日頃のチェックで
快適 & 安全！

ガスを快適 & 安全に
お使いいただくための

6 日頃のチェック
ポイント



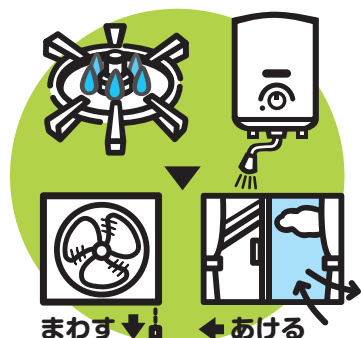


あなたの「日頃のチェック」で 快適 & 安全に ガスを使いましょう。

みなさま一人ひとりが日頃から注意してください。

✓チェック ポイント1

ガス機器を使うときは 必ず換気をしていますか？



ガスが燃えるには新鮮な空気が必要です。ガス機器を使うときは、換気扇を回す、窓を開けるなど必ず換気をしましょう。燃焼のための空気(酸素)が不足するとガス機器が不完全燃焼を起こし、一酸化炭素(CO)中毒の原因になる恐れがあります。

✓チェック ポイント2

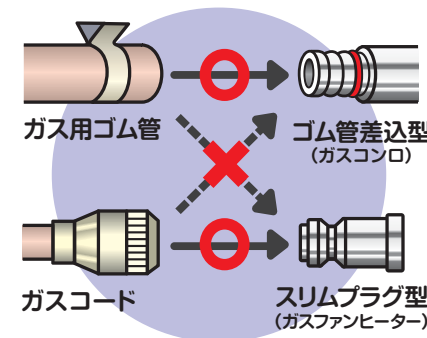
ガス警報器を 取り付けていますか？



万が一のガス漏れや、不完全燃焼による一酸化炭素(CO)が発生した場合に、ランプと音声でお知らせします。火災はもちろん、「3つのあんしん」を24時間守ります。

✓チェック ポイント3

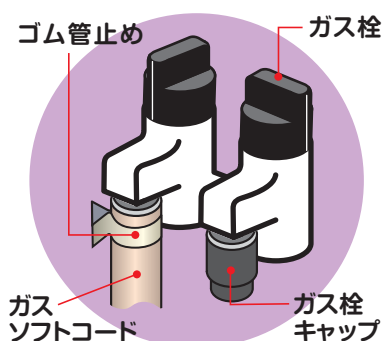
形状に合った 適切な接続具を使っていますか？



「ガス機器」、「ガス栓」は、種類によって接続する口の形状やサイズが異なります。正しく接続をしないとガス漏れ、火災などの原因に！
ガス機器および接続具の取扱い説明書をよく読んで、接続の形状やサイズに合ったもので接続しましょう。

✓チェック ポイント4

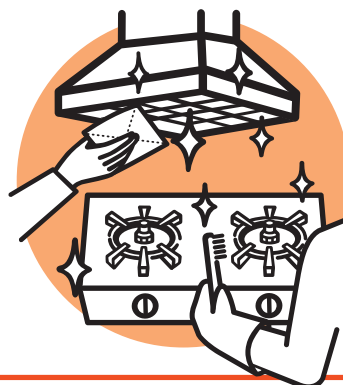
使用していないガス栓の 取扱いに注意していますか？



ガス機器が接続されていないガス栓を誤って開けると、ガスがもれて危険です。接続されていないガス栓は、ガス栓を開めてガス栓キャップをかぶせておいてください。また、古いガス栓をお使いの場合は、より安全型のヒューズガス栓への交換をお勧めします。

✓チェック ポイント5

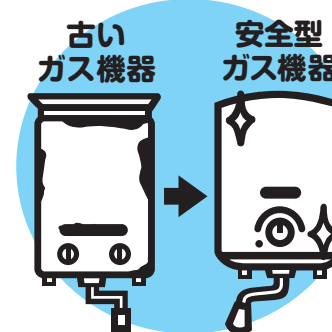
ガス機器のお掃除・ お手入れをしていますか？



コンロのバーナー部分や、ファンヒーターの空気取り入れ口のフィルター等は定期的に掃除をしましょう。コンロのバーナー部分は煮こぼれしたものが詰まると正常な燃焼を妨げ、思わぬ事故を起こす原因になることがあります。詳しくは、ガス機器の取扱説明書をよく読んで行ってください。

✓チェック ポイント6

古いガス機器をより安全型の ガス機器へ交換されていますか？



ガス機器も古くなると部品が劣化し火災や事故のおそれがあります。古いガス機器は安全装置の付いた「安全型ガス機器」に早めに交換しましょう！

ご不明な点やお問い合わせがありましたら、最寄りのガス事業者へご連絡ください。